

議 事 録

会議等の名称	第3回東部地区小学校給食センター 建設検討委員会	開催日時	令和6年11月27日（水） 午後7時00分 ～ 午後9時15分
		場 所	中央公民館3階 講堂
主催者(事務局)	教育委員会事務局 教育課 学校施設係	司会者	教育課長
出席者	（敬称略） 【委員】小林佑次、佐藤公美、白石隆宏、龍野正和、鹿取ちか、田中章子 宮下 聡、正村千香、荻原理子、五十嵐英美、西澤正浩、竹村洋子、白井 哲 佐橋真意、依田昌弘 【東御市教育長】山口千春 【事務局】深井芳信、土屋岳史、小宮山真二、小林靖宗、内村友香		
欠席者	【委員】森澤隼門、岡部春希、柳沢幸子		
議 題	（議題） (1) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について (2) 食育の取り組みについて (3) 地産地消の取り組みについて (4) アレルギー食対応について (5) その他		
決定事項 (要点を箇条書き)	・基本設計の内容を確認した。 ・食育、地産地消およびアレルギー食対応の現状を確認した。		

討議内容及び 経過	(発言者名)	(発言内容)
	事務局	この会議については公開で行われますのでご了承ください。
		1 開 会
	事務局	開会・進行
		2 教育長あいさつ
	教育長	あいさつ
		3 会議事項
	委員長	(1) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について、事務局説明を
		お願いします。
	事務局	(1) 東部地区小学校給食センター建設基本設計について、資料に基づき
		説明
	委員長	事務局から説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	器具洗浄コーナーに 1 と 2 があるのはなぜか。
	事務局	器具洗浄コーナーは、汚染作業区域と非汚染作業区域にそれぞれあり、
		区域を行き来することなく洗浄するために設置している。
	委員	作業動線の検討は進んでいるか。また、細かい備品などのサイズなども
		考えたうえで作業動線を考えてほしい。
	事務局	作業工程および作業動線については、県の指導もあり大まかな焼物、
		揚げ物、炒め物は作成し検討済みです。今後、詳細な献立のものについて
		も作成し確認していく。
	委員長	(2) 食育の取り組みについて、事務局説明をお願いします。
	事務局	(2) 食育の取り組みについて、資料に基づき説明
	委員長	ここで、各学校で行われている食育の取り組みについて、各学校長から
		紹介します。
	各小学校長	各小学校で行われている食育の取り組みについて、別紙食に関する指導
		の全体計画に基づき各小学校長から紹介
	委員長	それぞれ説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	センターになった場合、給食関係者と子どもたちの関わりが少なくなる
		と思う。北御牧センターのような給食関係者が学級に入り共食する取り組
		みをできる限り多く行ってもらえるとありがたい。
	事務局	給食関係者が配送車に乗って学校の様子を見るなどの取り組みなどを
		検討している。
	委員長	(3) 地産地消の取り組みについて、事務局説明をお願いします。
	事務局	(3) 地産地消の取り組みについて、資料に基づき説明

討議内容及び経過	委員長	事務局から説明がありましたが、質問意見があればお願いします。
	委員	以前、JAが農家と学校をつなげる取り組みのテレビを見た。スーパーに
		出荷できないものを給食側で受け入れてくれるというもので、どの規格
		までなら受け入れできるといった仲介するコーディネーターのような存在
		があれば双方にメリットがあるのでないか。
	委員	農協も人手が少ない中で、地域政策に力を入れ地産地消が大きな役割
		だと考えている。4小学校がまとまることで、これまでにない量が必要と
		なるため大規模農家との連携も必要になると思う。農協で担うことは難し
		いが、生産者、農協、学校の橋渡し役となるようなものがあればありが
		たいと思う。
	委員	食の安全に興味がある。何をもって安全かは様々あると思うが、セン
		ター化するにあたり、少しオーガニックを取り入れてみるとかしたら
		どうか。
	委員	子どもが口にするため無農薬のものは確かに良いが、給食のみに出荷
		している生産者はなく、費用の面で難しい。虫の関係や規格の関係で
		消費者の要望は高く、現実的には難しいと思う。以前、スーパーへ出荷
		するための組織があったが、今後「学校給食会」といった学校給食への
		出荷団体を立ち上げたいと考えている。
	委員	以前勤めていたところで、給食センターへの納品は規格が厳しいとの
		話を聞いたことがある。生産者側として気候などによって安定供給が
		難しい時もあり、給食側がほしいものがスムーズに供給できる仕組みが
		あるとよいと感じた。
	事務局	すべての品目の地産地消向上は難しいと感じている。生産量の多い
		ものや保存のきく品目への取り組みから進めることになると思う。
		コーディネーターのようなものを設置するとすれば片手間ではでき
		ないと思うので、今後仕組みづくりを検討したい。
	委員	毎月農協が出荷可能なものを給食側へ情報提供している。市内の
		学校・保育園から発注があるため、大量に準備でき欠品にならないよう
		なものを選定している。給食側への納品が安いとの話があったが、金額
		はこちらから提示しているものであるため安いということはない。
	委員	例えば、ブロッコリーを旬の時期にゆでて冷凍保存して給食で使うこ
		とはできないのか。
	委員	給食の衛生管理基準上でできないと考える。佐久市に、冷凍カット
		トマトを取り扱っている業者があるが、そういった一次加工したもの
		を使うといったことはある。

